

事業番号	08 04 16	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	加工・業務用陸わさび生産振興モデル事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H26 ~ H26		

### 1 事業の概要

目指す姿	遊休農地や林間地を活用し、地域特産作物である「わさび」の栽培を推進することで、実需者からの需要に応える新たな産地の育成と、地域の雇用を創出する。			
現状 (予算編成時)	本県のわさびは生産量全国第一位の生産量を誇る代表的な特用作物で、原料を活用した加工業も盛んである。栽培は安曇野の水わさび栽培が有名であるが、元来は山地に自生した作物であり、陸わさび栽培も可能である。県内加工業者からは、温暖化によるわさび生産の影響も有り、原料わさびが安定的に確保できる新たな産地育成への期待が高い。			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 本県の代表的な特用作物であり、中山間農業の振興においても重要な品目であるため、県としての関与が必要。 今後、北アルプス山麓わさび生産組合と協働で陸わさび生産振興を行う。		
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)			
	<input type="checkbox"/> 指導者の育成 (2名) <input type="checkbox"/> 苗の生産供給本数 (106,000本) <input type="checkbox"/> わさび出荷量 (2.2t) <input type="checkbox"/> 北アルプス山麓わさび生産組合での安定集出荷体制の確立			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初) / H26 (決算) / H27 (当初)
	加工・業務用陸わさびモデル産地の育成	委託	北アルプス山麓わさび生産組合に委託 ・わさび生産指導者の育成 ・陸わさび苗の安定生産体制の確立 ・陸わさびの安定生産体制の確立 ・生産物の安定集出荷体制の確立	6,279 / 6,279 / 0
	合計			6,279 / 6,279 / 0

事業コスト	区分 (単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
	当初予算		0	0	6,279	0
	補正予算					
	合計 (A)		0	0	6,279	0
Aの財源	一般財源					
	県債					
	国庫支出金					
	その他 (繰入金)		0	0	6,279	0
決算額 (B)				6,279		
概算人件費	職員数 (人)		0.00	0.00	0.10	0.00
	概算人件費 (C)		0	0	826	0
概算事業費 (B+A+C)			0	0	7,105	0

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
わさび生産指導者の育成	指導者 0名	指導者 2名	指導者 2名	達成	-
陸わさび苗の生産本数	約18,000本	106,000本	32,070本	未達成	-
出荷数量	47.2kg	2.2t	2.5t	達成	-
安定出荷体制	無	組合での出荷体制の確立	組合での出荷体制の確立	達成	-

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アルプス山麓わさび生産組合が雇用した2名を、指導者として育成できた。</li> <li>・8月以降の日照不足と湿度が高い状況が続いたことにより、苗の生産本数が大幅に減少したが、株間の間隔等を調整し予定面積は定植できた。</li> <li>・組合での出荷体制が確立したことにより、当初予定量を上回る量を出荷できた。</li> </ul>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・出荷体制は確立されたので、今後陸わさびの産地として安定した出荷ができるよう引き続き関係機関と連携して栽培指導などの支援をしていく。
--------------------	---